令和8年10月21日（水）
大崎タイムス掲載

化女沼の環境整備に汗

県建設業協大崎支部　ボランティアで除草

県建設業協会大崎支部（菅原伸介支部長）は13日、ボランティアで化女沼（大崎市古川）周辺の除草作業を行い、環境整備に貢献した。

同支部は、県管理の道路や河川などで清掃、緑化活動をボランティアで行う「スマイルサポーター」として県から認定を受けている。化女沼周辺の除草作業は春と秋の2回実施しており、ことしで16年目。

作業開始前にセレモニーがあり、県大崎地方ダム総合事務所の佐藤英彦所長が村井嘉浩知事からの感謝状を、同支部の渡邊大青年部会長へ手渡した。また「化女沼2000本桜の会」の佐々木哲朗会長が出席し、感謝と激励のあいさつを述べた。

作業には同支部に加盟する32社から従業員ら40人が参加。セレモニーの後、化女沼の周遊道路沿いなど担当区域に分かれ、それぞれ生い茂った雑草を、草刈り機を使って刈り払った。

感謝状を受け取った渡邊青年部会長は「これまでの活動が認められ、活動の励みになる。今後も20年、30年と継続していきたい」と語っていた。

化女沼を周遊する道路沿いで除草作業を進める参加者